



実施報告書

第3回「リーダーシップとクリティカルシンキング」

【実施概要】

開催日時	2025 年 10 月 24 日（金） 13：30～16：30
会場	Hiromalab（ヒロマラボ） 広島市中区銀山 3-1 ひろしまハイビル 21 17F
主催	広島県（受託事業者：株式会社ハーストストーリープラス）
参加者	37 名
講師	株式会社ハー・ストーリー 代表取締役 一般社団法人女性のあしたアカデミー 代表理事 日野佳恵子 氏

【内容】

- ・リーダーに必要な思考力（クリティカル×ロジカル）
- ・女性特有の思考を知ってフレームワークを活用する
- ・問題解決力を高めるためのトレーニングを実施
- ・ゲストトーク「私が管理職になったきっかけ」
西谷由江氏（広島電鉄株式会社 DX・IT 戦略室 課長）

【プログラム】

講座（13：30～14：45）

まずグループごとに自己紹介と、前回の研修以降に取り組んだことの共有からスタートしました。共有の際には、前回の課題である「PREP 法」を活用して発言することが求められました。

日野講師よりこれまでの講義を通してのキーメッセージとして、「自分の常識は他人の非常識。人はそれぞれ異なる考えを持っている」という言葉が紹介され、クリティカルシンキングを学ぶ上でも、リーダーは多様な考え方を理解し、受け止める姿勢が大切であると強調されました。

1. リーダーに必要な思考力（クリティカル×ロジカル）

リーダーに必要な 3 つの思考法として、

「クリティカルシンキング（批判的思考）」「ロジカルシンキング（論理的思考）」「ラテラルシンキング（発想的思考）」が紹介され、それぞれの特徴と具体例を学び、グループ内ディスカッションを行いました。人それぞれに考え方や思考が違うということを体感しながら学びました。

2. 女性特有の思考を知ってフレームワークを活用する

意思決定が苦手になりがちな「網の目思考（Web 思考）」の傾向を踏まえ、「前提を疑う」練習としてグループワークを実施しました。

ケーススタディでは、「女性リーダーを社内に増やすための管理職研修を企画する」をテーマに議論を行い、グループ内でのディスカッションの結果を全体で共有しました。

講座（14：55～16：30）

3. 問題解決力を高めるためのトレーニングを実施

後半は、自社や自身の課題を題材に、フレームワークを用いて整理・分析するトレーニングを行いました。

日野講師からは、リーダーに求められる「スピーディーな課題解決」の重要性が示され、特に目的の明確化や現状分析の段階で周囲を巻き込みながら進めることの大切さが強調されました。

その後、ペアやグループに分かれ、論理的思考を実践的に学ぶワークを実施しました。

ゲストトーク「私が管理職になったきっかけ」

西谷由江氏による現役女性管理職の経験談が共有され、管理職としての日常や大切にしていることが伝えられました。「ロールモデルという存在に固執しすぎず、各自の管理職像をチャレンジしてつくっていくことが重要である」というメッセージが伝えられました。

【会場の様子】



【参加者の声】 ※アンケートから抜粋

- 苦手とする論理的思考がテーマだったが、ワークもあったことで知識として学ぶだけでなく、実践する機会が得られました。

- 自分がいつもどのように思考しているのか、思考の特徴に気づくことができました。
- ワークを通じて他の方の意見も聞けるだけでなく、フィードバックもあり、大変学びになりました。
- 同じお題でも、結論が同じになる人がおらず、それでも、それぞれの意見に納得できたので、多様な意見をきちんと聞くことが大切だと感じられました。
- ロジカルシンキングをしている自覚がなかったが、先生のお話を聞いて、意外とロジカルシンキングを日々していることに気がつきました。
- 業種や社内の男女比の違いによる考え方の違いを感じられました。
- 今できていないことを改善しようと思える学びになりました。
- 現役管理職の話を聞いて、ポジティブな考えで管理職になることを受け入れれば、人を動かせるのではないかと勇気が出ました。

以上

